

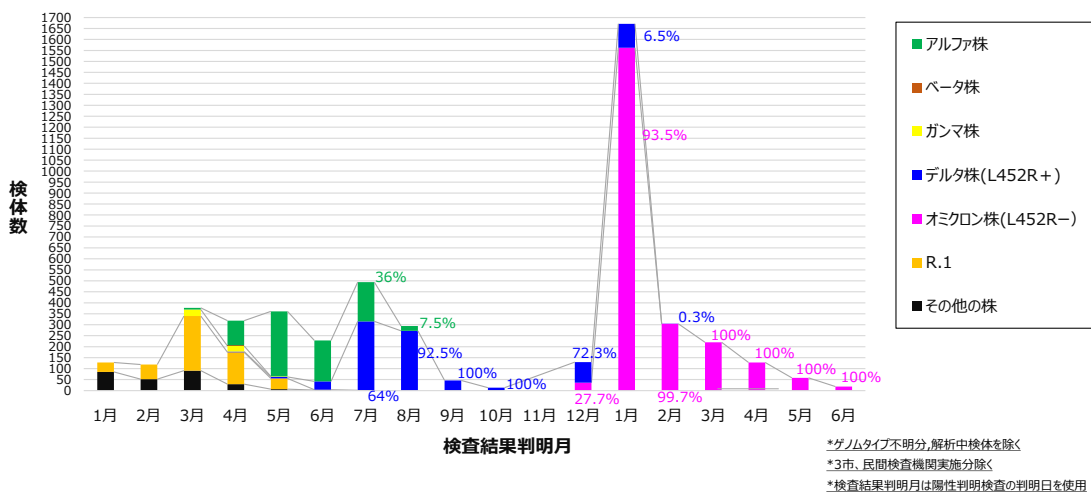
千葉県の新型コロナウイルス変異状況について

2022年6月20日

新型コロナウイルスの県衛生研究所把握分の検体（県衛生研究所で保健所等から収集した検体）において、2022年4月に検査陽性が判明した検体ではL452R変異陽性（デルタ株）検体は確認されず、すべて（128検体/128検体、100%）L452R変異陰性（オミクロン株）検体でした。また2022年5月に検査陽性が判明した検体についても同様にすべて（58検体/58検体、100%）オミクロン株であり、2022年6月に検査陽性が判明した検体についてもこれまで（2022年6月14日まで）のところ、すべて（18検体/18検体、100%）がオミクロン株となっています。直近3か月の推移を見ると、全検体（100%）がL452R変異陰性（オミクロン株）となっており、県内陽性検体はオミクロン株に完全に置き換わった状況です。

L452R変異陽性（デルタ株）検体は2022年3月以降、N501Y変異陽性（アルファ株、ベータ株、ガンマ株）、E484K単独変異株（R.1等）、その他の株の検体は2021年9月以降確認されていません。

【月別】2021年1月～2022年6月14日までのCOVID-19陽性検体の変異状況の推移(N=4909)



*ゲノムタイプ不明分、解析中検体を除く
*3市、民間検査機関実施分除く
*検査結果判明月は陽性判明検査の判明日を使用

【月別】2021年1月～2022年6月14日までに結果が判明したCOVID-19陽性検体の変異状況と割合

検査結果判明月	N501Y変異陽性				L452R変異陽性		L452R変異陰性		E484K単独変異		その他の株 (従来株等)		合計		
	アルファ株 (B.1.1.7系統)	ベータ株 (B.1.351系統)	ガンマ株 (P.1系統)	デルタ株(B.1.617.2,AY.xx 等)※疑い含む	オミクロン株(BA.1/BA.2系統) ※疑い含む	R.1	件数	割合	件数	割合	件数	割合			
2021年1月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	43	34%	85	66%	128		
2月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	67	56%	52	44%	119		
3月	8	2.1%	0	0.0%	29	7.7%	0	0.0%	249	66%	91	24%	377		
4月	113	35.4%	3	0.9%	25	7.8%	4	1.3%	145	45%	29	9%	319		
5月	296	82.0%	0	0.0%	3	0.8%	7	1.9%	49	14%	6	2%	361		
6月	186	81.6%	0	0.0%	0	0.0%	38	16.7%	0	0.0%	2	1%	228		
7月	179	36.2%	0	0.0%	0	0.0%	314	63.6%	0	0.0%	1	0%	494		
8月	22	7.5%	0	0.0%	0	0.0%	272	92.5%	0	0.0%	0	0%	294		
9月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	46	100.0%	0	0.0%	0	0%	46		
10月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%	0	0.0%	0	0%	13		
11月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0		
12月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	94	72.3%	36	27.7%	0	0%	130		
2022年1月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	109	6.5%	1562	93.5%	0	0%	1671		
2月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	304	99.7%	0	0%	305		
3月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	220	100.0%	0	0%	220		
4月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	128	100.0%	0	0%	128		
5月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	58	100.0%	0	0%	58		
6月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	18	100.0%	0	0%	18		
合計	804	16.4%	3	0.1%	57	1.2%	898	18.3%	2326	47.4%	556	11.3%	265	5.4%	4909

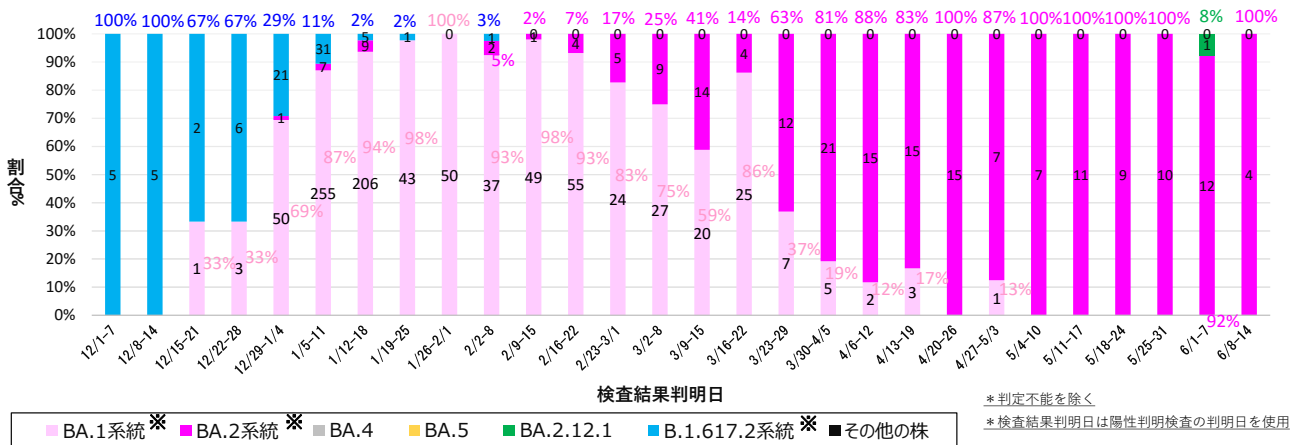
■2021年12月以降のSARS-CoV-2ゲノムタイプ別検出割合の推移（検査陽性判明週ごと）

AY.29等のデルタ株の系統は2021年12月中旬以降に検査陽性が判明した検体中において検出割合が減少し、2022年2月2日-8日の週を最後に確認されていません。現在、県内陽性検体の全てを占めるオミクロン

ン株の系統別ではBA.1系統（※以下註）が2021年12月中旬以降増加し、2022年2月中旬～下旬まで主流の系統でしたが、その後BA.2系統（※以下註）の検出割合が増加し始め、2022年3月末～4月頭には全体の8割以上を占めるようになり、2022年5月4日-10日以降、全検体がBA.2系統となっています。また、BA.2系統の亜種であり、アメリカ等で検出が増加しているBA.2.12.1系統が2022年6月1日-7日の週に1検体確認されました（下図）。

なおその他ヨーロッパ等で増加が懸念されている新たなオミクロン株の亜種であるBA.4、BA.5系統についてはこれまでのところ当所での検出例はありません。

2021年12月以降のSARS-CoV-2変異株系統別検出割合の推移(検査結果判明日別)



※BA.1系統：BA.1, BA.1.1, BA.1.1.2, BA.1.15等

※BA.2系統：BA.2, BA.2.10, BA.2.10.2, BA.2.24, BA.2.29, BA.2.3, BA.2.3.1等 BA.2.12.1を除く

※B.1.617.2系統：B.1.617.2, AY.122.1, AY.29, AY.29.1等

*判定不能を除く

*検査結果判明日は陽性判明検査の判明日を使用